

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
国語	現代文B	現代文B α (現代文・現代文演習)	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	共通・人文
履修条件 ・ 2・3年次継続履修			
講座内容			
1. 随想…文章の構成に注意し、内容を的確にとらえる。文章の読解を通して自然や文明の在り方について考えを深める。			前期 13 時間
2. 小説…細かい叙述を確認しながら、人物・情景・心情を的確にとらえる。登場人物の姿を通して、人間の心理について考えを深める。			前期 24 時間 後期 28 時間
3. 評論…文章の流れに注意し、論理の展開・要旨を的確にとらえる。文章の読解を通して、科学技術・言語・異文化理解等について考えを深める。			前期 24 時間 後期 28 時間
4. 受験に向けて問題演習をする。			
履修上の注意			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
国語	現代文B	現代文B β (現代文)	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	共通・理数
履修条件 ・ 2・3年次継続履修			
講座内容			
1. 随想…文章の構成に注意し、内容を的確にとらえる。文章の読解を通して自然や文明の在り方について考えを深める。			前期 8 時間
2. 小説…細かい叙述を確認しながら、人物・情景・心情を的確にとらえる。登場人物の姿を通して、人間の心理について考えを深める。			前期 15 時間 後期 20 時間
3. 評論…文章の流れに注意し、論理の展開・要旨を的確にとらえる。文章の読解を通して、科学技術・言語・異文化理解等について考えを深める。			前期 16 時間 後期 19 時間
4. 受験に向けて問題演習をする。			
履修上の注意			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
国語	古典B	古典B $\alpha$ (古文・漢文)	4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	共通・人文
<b>履修条件</b>			
・ 2・3年次継続履修			
<b>講座内容</b>			
<p><b>【古文】</b></p> <p>「随筆」「日記」では，2年次から継続的に発展できるように基礎基本をおさえながらすすめてゆく。比較的親しみやすい短話から徐々に長文に移行する。</p> <p>「評論」「物語」では，長文読解を主とする。これまでの文法事項，敬語法，修辞法などの総まとめをする。</p> <p>「問題演習」…受験に向けて問題演習をする。</p> <p><b>【漢文】</b></p> <p>短文から長文へと読解をすすめ，人生の機知・味わいに富んだ内容を鑑賞するとともに，受験も意識して問題演習に取り組み習熟度を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伝記」「小説」「詩文」…比較的短文のものの鑑賞</li> <li>・「史伝」…長文の読解</li> <li>・「思想」…叙述の背景となっている考え方について鑑賞する。</li> <li>・「問題演習」…受験に向けて問題演習をする。</li> </ul>			<p>前期 78 時間 (古文 39 時間・漢文 39 時間)</p> <p>後期 78 時間 (古文 39 時間・漢文 39 時間)</p>
<b>履修上の注意</b>			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
国語	古典B	古典Bβ(古文・漢文)	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	共通・理数
<b>履修条件</b> ・2・3年次継続履修			
<b>講座内容</b> 【古文】 「随筆」「日記」では、2年次から継続的に発展できるように基礎基本をおさえながらすすめてゆく。比較的親しみやすい短話から徐々に長文に移行する。 「評論」「物語」では、長文読解を主とする。これまでの文法事項、敬語法、修辞法などの総まとめをする。 「問題演習」…受験に向けて問題演習をする。 【漢文】 短文から長文へと読解をすすめ、人生の機知・味わいに富んだ内容を鑑賞するとともに、受験も意識して問題演習に取り組み習熟度を高める。 ・「伝記」「小説」「詩文」…比較的短文のものの鑑賞 ・「史伝」…長文の読解 ・「思想」…叙述の背景となっている考え方について鑑賞する。 ・「問題演習」…受験に向けて問題演習をする。			前期 59 時間 (古文 39 時間・漢文 20 時間)  後期 58 時間 (古文 39 時間・漢文 19 時間)
<b>履修上の注意</b>			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
国語	古典特講	古典特講α	1
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	前期	選択・人文
<b>履修条件</b> 人文系が選択履修する。			
<b>講座内容</b> 古文分野と漢文分野をある程度まとめたかたちで交互にすすめてゆく。  ○古文 比較的親しみやすい作品を中心に鑑賞する力を養う。 ○漢文 読解を通じてものの見方、考え方を深め、今日的な意義と結びつけて鑑賞する。  後半から受験に向けての問題演習をする。			前期 39 時間
<b>履修上の注意</b>			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
国語	古典特講	古典特講β	1
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	後期	選択・人文
<b>履修条件</b> 人文系が選択履修する。			
<b>講座内容</b>  古文分野と漢文分野をある程度まとめたかたちで交互にすすめてゆく。  ○古文 比較的親しみやすい作品を中心に鑑賞する力を養う。 ○漢文 読解を通じてものの見方,考え方を深め,今日的な意義と結びつけて鑑賞する。  受験に向けて問題演習をする。			後期 39 時間
<b>履修上の注意</b>			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
国語	国語表現	国語表現	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>  国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活を充実させる態度を育てる。  1. 自己紹介文・聞き書き文の作成やディベートなどの言語活動等を行う。 2. 受験に向けて問題演習、小論文演習、面接練習等を行う。			前期 39 時間 後期 39 時間
<b>履修上の注意</b>			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
国語	文学研究	文学研究	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
履修条件			
講座内容			1つの作品について10時間以上をあて、年間10作品程度、1. 2. 3.の内容を学習する。
1. 小説・評論の両分野から作品を選び、読解したものを発表しあう。 2. 1の作業を通して各自が抱いた疑問、新たな問題について、図書室・インターネット等を利用して、調べ学習を行う。 3. 2の結果を発表して、相互に評価しあう。			
履修上の注意			

( 国語 ) 科 (科目)		普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次 文系
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)	
A	現代文B $\alpha$	3単位	
B	古典B $\alpha$ (古文)	2単位	
C	古典B $\alpha$ (漢文)	2単位	
D	古典特講 $\alpha$ ・ $\beta$	$\alpha$ 前期・ $\beta$ 後期、各1単位 (選択) 学校設定科目	
E	国語表現	2単位 (選択)	
教材	<p>教科書 A:「精選現代文B」(東京書籍)、B:「精選古典B 古文編」(東京書籍)、  C:「精選古典B 漢文編」(東京書籍)、E:「国語表現 改訂版」(大修館書店)</p> <p>古典文法書 B:「新修 古典文法 二訂版」(京都書房)、C:「新明説漢文」(尚文出版)</p> <p>国語便覧:「トータルサポート 新国語便覧」(大修館書店)</p> <p>現代文単語:「現代文単語 げんたん」(いいずな書店)</p> <p>古文単語:「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325&lt;新装版&gt;」(尚文出版)</p> <p>問題集 (週末課題用)、マーク問題集、漢字問題集:「新版 品詞別 頻出漢字マスター3000」(尚文出版)</p> <p>国語辞典、古語辞典、漢和辞典</p>		
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現代文B」評論文、小説、韻文の発展的な読解力を育成する。</li> <li>・「古典B」古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</li> <li>・「古典特講」中古の古文を中心に読解の基本事項を身につけるとともにその時代の人々の生き方や我が国の文化や伝統についての理解を深める。 基礎の定着のうえに問題演習などで実践的な力をつけさせる。</li> <li>・「国語表現」表現についての様々な演習を通して受験小論文にも対応する力を身につける。</li> </ul>		
課題	<p>週末課題  長期休業中の課題</p>		
評価方法	<p>定期考査、課題考査、実力考査、小テスト  課題の提出、授業への取り組み、などを総合的に評価する。</p>		

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 現代文B	B 古典B α (古文)	C 古典B α (漢文)	D 古典特講	E 国語表現
4	評論 小説	随筆 日記	史話 詩	物語 歴史物語	(問題演習) 漢字の読み
5	評論 小説 評論	評論 物語 問題演習	史記 思想 問題演習	源氏物語 問題演習	書き 語句
6	問題演習				文章表現 ・ レポート ・ スピーチ ・ 意見文 等
7					
8					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
備考				学校設定科目	

( 国語 ) 科 (科目)	普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次 理系
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)
A	現代文B β	2単位
B	古典B β (古文)	2単位
C	古典B β (漢文)	1単位
教材	<p>教科書 A : 「精選現代文B」(東京書籍)、B : 「精選古典B 古文編」(東京書籍)、 C : 「精選古典B 漢文編」(東京書籍)</p> <p>古典文法書 B : 「新修 古典文法 二訂版」(京都書房)、C : 「新明説漢文」(尚文出版)</p> <p>国語便覧 : 「新版三訂 カラー版 新国語便覧」(第一学習社)</p> <p>現代文単語 : 「現代文単語 げんたん」(いいずな書店)</p> <p>古文単語 : 「完全頻度順 入試対策ベストセレクション 古文単語 325&lt;新装版&gt;」(尚文出版)</p> <p>問題集 (週末課題用)、マーク問題集、</p> <p>漢字問題集 : 「新版 品詞別 頻出漢字マスター3000」(尚文出版)</p> <p>国語辞典、古語辞典、漢和辞典</p>	
指導到達目標と指導の工夫	<p>「現代文B」評論文、小説、韻文の発展的な読解力を育成する。</p> <p>「古典B」古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。</p> <p>基礎の定着のうえ問題演習により実践的な力をつけさせる。</p>	
課題	<p>週末課題</p> <p>長期休業中の課題</p>	
評価方法	<p>定期考査、課題考査、実力考査、小テスト</p> <p>課題の提出、授業への取り組み、などを総合的に評価する。</p>	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 現代文B	B 古典Bβ (古文)	C 古典Bβ (漢文)	D
4	評論 小説	随筆 日記	史話 史記	
5	評論 小説 評論	評論 物語 問題演習	思想 問題演習	
6	問題演習			
7				
8				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
備考				

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	世界史B	世界史 Bβ	4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	理数系選択
<b>履修条件</b> 2年次に世界史Aを履修していること。			
<b>講座内容</b>			
1. オリентと地中海世界			2 2時間
2. アジア・アメリカの古代文明			2 2時間
3. 内陸アジア世界・東アジア世界の形成			2 2時間
4. イスラーム世界の形成と発展			2 2時間
5. ヨーロッパ世界の形成と発展			2 2時間
6. 内陸アジア世界・東アジア世界の展開			
7. アジア諸地域の繁栄			2 3時間 2 3時間
<b>履修上の注意</b> 予習復習はもちろんのこと、家庭学習では各自で問題演習も進めること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	世界史B	世界史B研究α	5
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文系選択
<b>履修条件</b> 2年次に世界史Bを履修していること。			
<b>講座内容</b>			
1. オリентと地中海世界			2 7時間
2. アジア・アメリカの古代文明			2 8時間
3. 内陸アジア世界・東アジア世界の形成			2 8時間
4. イスラーム世界の形成と発展			2 8時間
5. ヨーロッパ世界の形成と発展			2 8時間
6. 内陸アジア世界・東アジア世界の展開			
7. アジア諸地域の繁栄			2 8時間 2 8時間
<b>履修上の注意</b> 予習復習はもちろんのこと、家庭学習では各自で問題演習も進めること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	世界史B	要説世界史 $\alpha$ 、 $\beta$	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文系選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			
1. オリエントと地中海世界			2 4 時間
2. アジア・アメリカの古代文明			2 4 時間
3. 内陸アジア世界・東アジア世界の形成			2 4 時間
4. イスラーム世界の形成と発展			2 1 時間
5. ヨーロッパ世界の形成と発展			
<b>履修上の注意</b>			
共通テストあるいは2次試験で地歴が2科目必要な人が選択すること。 $\alpha$ と $\beta$ をともに履修すること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	日本史B	日本史B研究 $\alpha$	5
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文系選択
<b>履修条件</b>			
2年次に日本史Bを履修していること			
<b>講座内容</b>			
「近世・近代の日本」			
1 幕藩体制の確立			2 7 時間
2 幕藩体制の展開			2 8 時間
3 幕藩体制の動揺			2 8 時間
4 近代国家の成立			2 8 時間
「戦後の日本」			
1 占領下の日本			2 8 時間
2 高度経済成長の時代			2 8 時間
3 激動する世界と日本			2 8 時間
<b>履修上の注意</b>			
予習復習はもちろんのこと、家庭学習では各自で問題演習も進めること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	日本史B	日本史B研究β	4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	理数系選択
<b>履修条件</b> 2年次に日本史Bを履修していること。			
<b>講座内容</b> 「近世・近代の日本」 1 幕藩体制の確立 2 幕藩体制の展開 3 幕藩体制の動揺 4 近代国家の成立 「戦後の日本」 1 占領下の日本 2 高度経済成長の時代 3 激動する世界と日本			2 2時間 2 2時間 2 2時間 2 2時間 2 2時間 2 3時間 2 3時間
<b>履修上の注意</b> 予習復習はもちろんのこと、家庭学習では各自で問題演習も進めること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	日本史B	要説日本史 $\alpha$ 、 $\beta$	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			
「近世・近代の日本」			
1 幕藩体制の確立			30時間
2 幕藩体制の展開			30時間
3 幕藩体制の動揺			30時間
4 近代国家の成立			27時間
<b>履修上の注意</b>			
共通テストあるいは2次試験で地歴が2科目必要な人が選択すること。 $\alpha$ と $\beta$ をともに履修すること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	地理B	地理B研究 $\alpha$	5
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文系選択
<b>履修条件</b>			
2年次に地理Bを履修していること。			
<b>講座内容</b>			
1 「世界の諸地域」・「グローバル化する現代世界」では、身近な地域から国家、州規模の地域まで資料などを使用して各地域を学習する。			98時間
2 「地球的な課題」では、人口・食料問題や都市・居住問題、環境問題、民族問題などについて考察する。			97時間
<b>履修上の注意</b>			
予習復習はもちろんのこと、家庭学習では各自で問題演習も進めること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	地理B	地理B研究β	4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	理数系選択
<b>履修条件</b>			
2年次地理Bを履修している者に限る。			
<b>講座内容</b>			
1 「世界の諸地域」・「グローバル化する現代世界」では、身近な地域から国家、州規模の地域まで資料などを使用して各地域を学習する。			78時間
2 「地球的な課題」では、人口・食料問題や都市・居住問題、環境問題、民族問題などについて考察する。			78時間
<b>履修上の注意</b>			
予習復習はもちろんのこと、家庭学習では各自で問題演習も進めること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
地理歴史	地理B	要説地理α、β	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			
1 「世界の諸地域」・「グローバル化する現代世界」では、身近な地域から国家、州規模の地域まで資料などを使用して各地域を学習する。			117時間
<b>履修上の注意</b>			
共通テストあるいは2次試験で地歴が2科目必要な人が選択すること。 αとβをともに履修すること。			

教科名	科目名	講座名（校内名称）	単位数
地理歴史 (学)	郷土の歴史と文化	郷土の歴史と文化	1
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	前期	選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			39時間
1 高梁の地理 2 古代～中世の高梁 3 近世：備中松山藩 4 近代：町の移り変わり 5 現代			
<b>履修上の注意</b>			
学校設定科目である。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
公民	現代社会	現代社会探求	1
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			通年 39時間
第4編 国際社会の動向と日本の果たすべき役割			
第1章 国際政治の動向と日本の役割			
第2章 国際経済の動向と国際協力			
<b>履修上の注意</b>			
新聞、テレビ等で、現代社会の諸問題に進んで触れるように努めること。予習復習はもちろんのこと、家庭学習では各自で問題演習も進めること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
公民	現代社会	現代社会研究β	1
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・理数
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			通年 39時間
第4編 国際社会の動向と日本の果たすべき役割			
第1章 国際政治の動向と日本の役割			
第2章 国際経済の動向と国際協力			
<b>履修上の注意</b>			
新聞、テレビ等で、現代社会の諸問題に進んで触れるように努めること。予習復習はもちろんのこと、家庭学習では各自で問題演習も進めること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
公民	政治経済	政治経済	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b> 第1編 現代の政治 1 民主主義の基本原理 2 日本国憲法の基本的性格と平和主義 3 基本的人権の保障 4 日本の政治制度 5 現代政治の現状と課題 6 国際政治と日本 第2編 現代の経済 7 経済社会の変容 8 現代経済のしくみ 9 日本経済と社会福祉の向上 10 国民経済と国際経済 第3編 現代の諸課題 11 現代日本の諸課題 12 国際社会の諸課題			通年 78時間
<b>履修上の注意</b> 共通テストで政治経済が指定されている者、公民で4単位科目が必要な生徒を主な対象とする。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
公民	倫理	倫理	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			通年 78時間
1 青年期の課題と自己形成			
2 人間としての自覚と生き方			
3 現代社会と倫理			
4 現代社会と倫理			
5 現代の諸課題と倫理			
<b>履修上の注意</b>			
センター試験で倫理が指定されている者、公民で4単位科目が必要な者を主な対象とする。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
公民(学)	人口・食糧問題	人口・食糧問題	1
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	前期	選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			19時間 20時間
人類にとって21世紀のキーワードは「人口・食糧・エネルギー」といわれている。これらの全容を理解するために、現状の把握と問題点およびその対策について講義し、レポート提出あるいは各課題に対する学生間討論を交えて基礎理解を深める。			
<b>履修上の注意</b>			
高大連携授業ですが、現在は休止中です。			

( 地歴 ) 科 (科目)	普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など) 文系必修
A	世界史B (世界史B研究α)	5単位
B		
C		
D		
教材	教科書：詳説世界史B 山川出版 資料集：ニューステージ世界史詳覧 浜島書店	
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界をタテだけではなく、ヨコにみられるような視点を養う</li> <li>・地理的視点を養う</li> <li>・言語活動を充実させる</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や長期休みに課題を課す</li> <li>・定期的に小テストを行う</li> </ul>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物、授業への意欲・態度で評価する</li> </ul>	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 世界史B	B	C	D
4	諸地域世界の交流 アジア諸地域の繁栄			
5	近代ヨーロッパの成立 ヨーロッパ主権国家体制 の展開			
6	欧米における近代社会の 成長 欧米における近代国民国 家の発展			
7	アジア諸地域の動揺			
8	帝国主義とアジアの民族 運動			
9				
10	二つの世界大戦			
11	冷戦と第三世界の自立 現代の世界			
12	共通テスト対策問題演習			
1				
2				
3				
備考				

( 地歴 ) 科 (世界史B)	普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)
A	世界史B研究β	4単位 理系選択者
B		
C		
D		
教材	教科書：詳説世界史B 山川出版 資料集：ニューステージ世界史詳覧 浜島書店	
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界をタテだけではなく、ヨコにみられるような視点を養う</li> <li>・地理的視点を養う</li> <li>・言語活動を充実させる</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や長期休みに課題を課す</li> <li>・定期的に小テストを行う</li> </ul>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物、授業への意欲・態度で評価する</li> </ul>	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 世界史B	B	C	D
4	先史の世界 オリエントと地中海世界 ローマ世界			
5	インドの古典世界 東南アジアの諸文明 中国の古典文明			
6	南北アメリカ文明 北方民族の活動と中国の分裂			
7	東南アジア諸地域の自立化 モンゴル民族の発展 イスラーム帝国の成立			
8	イスラーム世界の発展 西ヨーロッパ世界の成立 諸地域世界の交流			
9	アジア諸地域の繁栄 近代ヨーロッパの成立 ヨーロッパ主権国家体制の展開			
10	欧米における近代社会の成長 アジア諸地域の動揺			
11	帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 冷戦と第三世界の自立			
12	現代の世界 共通テスト対策問題演習			
1				
2				
3				
備考				

( 地 歴 ) 科 (日本史B)	普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)
A	日本史B (日本史B研究α)	5単位 (選択)
B		
C		
D		
教材	教科書：詳説日本史B 山川出版社 資料集：新詳日本史 浜島書店	
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の歴史を地理的条件と関連づけて多面的・多角的に考察させる。</li> <li>・我が国と世界の国々の関係にも注目させ、世界の中の日本という視点を持たせる。</li> <li>・地域の歴史についても着目させ、理解を深めさせる。</li> <li>・学習の成果をまとめ、発表する機会を設けるなどして、言語活動の充実をはかる。</li> <li>・近世以降を更に深めることにより、現代社会分野との関連を踏まえて、理解させる。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や長期休みに課題を課す</li> </ul>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物、授業への意欲・態度で評価する</li> </ul>	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 日本史 B	B	C	D
4	第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立			
5	第7章 幕藩体制の展開			
6	第8章 幕藩体制の動揺			
7	第4部 近代・現代			
8	第9章 近代国家の成立			
9	第10章 近代日本とアジア			
10	第11章 占領下の日本			
11	第12章 高度成長の時代			
12	第13章 激動する世界と日本			
	共通テスト対策問題演習			
1				
2				
3				
備考				

( 地 歴 ) 科 (日本史B)	普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)
A	日本史B (日本史B研究β)	4単位 (選択)
B		
C		
D		
教材	教科書：詳説日本史B 山川出版社 資料集：新詳日本史 浜島書店	
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の歴史を地理的条件と関連づけて多面的・多角的に考察させる。</li> <li>・我が国と世界の国々の関係にも注目させ、世界の中の日本という視点を持たせる。</li> <li>・地域の歴史についても着目させ、理解を深めさせる。</li> <li>・学習の成果をまとめ、発表する機会を設けるなどして、言語活動の充実をはかる。</li> <li>・近世以降を更に深めることにより、現代社会分野との関連を踏まえて、理解させる。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や長期休みに課題を課す</li> </ul>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物、授業への意欲・態度で評価する</li> </ul>	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 日本史 B	B	C	D
4	第 3 部 近世 第 6 章 幕藩体制の確立			
5	第 7 章 幕藩体制の展開			
6				
7	第 8 章 幕藩体制の動揺			
8	第 4 部 近代・現代 第 9 章 近代国家の成立			
9				
10	第 10 章 近代日本とアジア			
11	第 11 章 占領下の日本 第 12 章 高度成長の時代			
12	第 13 章 激動する世界と日本 共通テスト対策問題演習			
1				
2				
3				
備考				

地 歴 科 ( 地理 B )	普通 ・ 家 政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)
地理 B (地理 B 研究 α)		選択履修 文系 5 単位
教材	新詳地理 B (帝国) 新詳高等地図 (帝国) 最新地理図表 (第一学習社) データブック (二宮) 新地理要点ノート (啓隆社)	
指導到達目標と指導の工夫	二年次で学習した自然地理分野との関連を意識しつつ、人間の文化・生活の成り立ちを地理的な視点から理解する。	
課題	長期休業中に課題を課す。	
評価方法	・ 定期考査、提出物、授業への意欲・態度で評価する	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	地理 B			
4	○産業と資源 ☆鉱・工業・・・ロシアの工業地域／アジアの工業地域 その他の国々の工業地域／日本の工業			
5	○地域開発と環境問題 世界の地域開発／地球的規模の環境問題／日本の総合開発			
6	○人口・人種・民族・国家および都市 ☆人口問題・・・人口分布と人口構成／さまざまな人口問題 ☆人種・民族問題と生活文化・・・人種と民族／人種と人種問題／言語と宗教／民族問題 民族の対立をこえて／世界の人々の伝統的な衣食住			
7	☆現代世界の国歌と国家群・・・国家の領域と国境／国境と領有権問題／国家間の結びつき ☆村落・都市・・・村落の立地と発達／村落の形態 都市の立地と発達および都市の形態／都市の機能 ☆居住・都市問題・・・産業と人口の都市集中／大都市の機能的な地域分化 先進国の居住・都市問題／発展途上国の居住・都市問題 都市計画			
7・8	○変化する現代世界の地理的事象 ☆グローバル化する世界の交通と通信 ・・・世界の交通／世界の通信 ☆世界の貿易・・・産業の国際化／産業の地域分化／現代世界の貿易 世界における日本 ☆行動空間の拡大			
9	○地誌 ☆アジア・・・地域の特色／朝鮮半島／中国／東南アジア／南アジア 南アジア／西アジア ☆アフリカ・・・地域の特色／北アフリカ／中南アフリカ ☆ヨーロッパ・・・地域の特色／ヨーロッパの国々			
10	☆ロシア ☆アンソロアメリカ・・・地域の特色／アメリカ合衆国／カナダ ☆ラテンアメリカ・・・地域の特色／アンデス山脈の自然と生活／ラテンアメリカの国々			
11	☆オセアニア ☆両極			
11・12	○共通テスト対策問題演習			
1				
備考				

地 歴 科 ( 地理 B )		普通 ・ 家 政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)	
地理 B (地理 B 研究 β)		選択履修 理系 4 単位	
教材	新詳地理 B (帝国) 新詳高等地図 (帝国) 最新地理図表 (第一学習社) データブック (二宮) 新地理要点ノート (啓隆社)		
指導到達目標と指導の工夫	二年次で学習した自然地理分野との関連を意識しつつ、人間の文化・生活の成り立ちを地理的な視点から理解する。		
課題	長期休業中に課題を課す。		
評価方法	・ 定期考査、提出物、授業への意欲・態度で評価する		

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	地理 B			
4	○産業と資源 ☆鉱・工業・・・ロシアの工業地域／アジアの工業地域 その他の国々の工業地域／日本の工業			
5	○地域開発と環境問題 世界の地域開発／地球的規模の環境問題／日本の総合開発			
6	○人口・人種・民族・国家および都市 ☆人口問題・・・人口分布と人口構成／さまざまな人口問題 ☆人種・民族問題と生活文化・・・人種と民族／人種と人種問題／言語と宗教／民族問題 民族の対立をこえて／世界の人々の伝統的な衣食住			
7	☆現代世界の国歌と国家群・・・国家の領域と国境／国境と領有権問題／国家間の結びつき ☆村落・都市・・・・・・・・・・村落の立地と発達／村落の形態 都市の立地と発達および都市の形態／都市の機能 ☆居住・都市問題・・・・・・・・産業と人口の都市集中／大都市の機能的な地域分化 先進国の居住・都市問題／発展途上国の居住・都市問題 都市計画			
7・8	○変化する現代世界の地理的事象 ☆グローバル化する世界の交通と通信 ・・・・・・・・世界の交通／世界の通信 ☆世界の貿易・・・・・・・・産業の国際化／産業の地域分化／現代世界の貿易 世界における日本 ☆行動空間の拡大			
9	○地誌 ☆アジア・・・・・・・・地域の特色／朝鮮半島／中国／東南アジア／南アジア 南アジア／西アジア ☆アフリカ・・・・・・・・地域の特色／北アフリカ／中南アフリカ ☆ヨーロッパ・・・・・・・・地域の特色／ヨーロッパの国々			
10	☆ロシア ☆アンソロアメリカ・・・地域の特色／アメリカ合衆国／カナダ ☆ラテンアメリカ・・・地域の特色／アンデス山脈の自然と生活／ラテンアメリカの国々			
11	☆オセアニア ☆両極			
11・12	○共通テスト対策問題演習			
1	備考			

( 公 民 ) 科 (科目)	普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)
A	現代社会探究	1 単位 (人文系選択)
B		
C		
D		
教材	教科書：高等学校 改訂版 現代社会 第一学習社 資料集：最新現代社会資料集 2017 第一学習社 ノート：現代社会ノート 第一学習社	
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事や写真などを用いて、現代社会で起こっている問題を身近に感じられるようにする</li> <li>・センター試験の過去問や模試の問題を用いて、センター試験の対策を行う。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や長期休みに課題を課す</li> </ul>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物、授業への意欲・態度で評価する</li> </ul>	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 現代社会	B	C	D
4	今日の国際問題 国家主権と国際法			
5	国境と領土問題 地域紛争と人種・民族問題 国際連合の役割			
6	核兵器の廃絶と国際平和 外交政策と日本の役割			
7	豊かな人生を求めて 伝統的なものの考え方と 価値観			
8				
9	西洋の自然観と人間観 私たちの課題			
10	共通テスト対策問題演習			
11	共通テスト対策問題演習			
12	共通テスト対策問題演習			
1	共通テスト対策問題演習			
2	共通テスト対策問題演習			
3	共通テスト対策問題演習			
備考				

( 公 民 ) 科 ( 倫 理 )	普通 ・ 家 政 科	( 3 ) 年 次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)
A	倫理	2単位 普通科文系選択
B		
C		
D		
教材	教科書：高等学校 改定版倫理 第一学習社 資料集：テオーリア最新倫理資料集 新版 第一学習社	
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思想家の単なる思想史にならないよう、自らの主体的な生き方の問題として考えさせる。</li> <li>・時代背景をしっかりと考えさせる。</li> <li>・言語活動を充実させる。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や長期休みに課題を課す</li> <li>・定期的に小テストを行う</li> </ul>	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、提出物、授業への意欲・態度で評価する</li> </ul>	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 世界史B	B	C	D
4	青年期の課題と自己形成 人間としての自覚			
5	国際社会に生きる日本人 としての自覚			
6	日本の風土と伝統 外来思想の受容			
7	町人意識のめざめと庶 民思想			
8	西洋思想との出会い 現代に生きる人間の倫理 現代の特質と倫理的課 題			
9	人間の尊厳 近代の科学革命と自然 観			
10	自由で平等な社会の実 現 人間性の回復と主体性 の確立			
11	現代の思想と人間像 現代の諸課題と倫理			
12	共通テスト対策問題演習			
1				
2				
3				
備考				

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
数学	数学特論	数学特論 $\alpha$	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通 年	選択・人文
<b>履修条件</b> 2年次に数学Ⅱを履修していること。			
<b>講座内容</b> 1 主に大学入学共通テストに向けて、「数学Ⅰ・A」、「数学Ⅱ・B」の問題演習を行う。 2 前期は基礎演習を中心に行う。 3 後期は応用演習を中心に行う。			前期 5 9 時間 後期 5 8 時間
<b>履修上の注意</b> 習熟度に応じて「基礎」、「標準」の2コースに分かれて履修する。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
数学	数学特論	数学特論 $\beta$	4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通 年	選択・理数
<b>履修条件</b> 2年次に数学Ⅱを履修していること。			
<b>講座内容</b> 1 主に大学入学共通テストに向けて、「数学Ⅰ・A」、「数学Ⅱ・B」の問題演習を行う。 2 前期は基礎演習を中心に行う。 3 後期は応用演習を中心に行う。			前期 7 8 時間 後期 7 8 時間
<b>履修上の注意</b>			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
数学	数学B	数学B研究 $\alpha$	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b> 2年次に数学Bを履修していること。			
<b>講座内容</b> 1 主に大学入学共通テストに向けて、「数学Ⅰ・A」、「数学Ⅱ・B」の問題演習を行う。 2 前期は基礎演習を中心に行う。 3 後期は応用演習を中心に行う。			前期39時間 後期39時間
<b>履修上の注意</b> 習熟度に応じて「基礎」、「標準」の2コースに分かれて履修する。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
数学	数学Ⅲ	数学Ⅲ	4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・理数
<b>履修条件</b> 2年次の数学Ⅲの継続履修である。			
<b>講座内容</b>			前期 78 時間 後期 78 時間
<ol style="list-style-type: none"> <li>「微分法の応用」では、接線・法線の方程式を学ぶ。また、いろいろな関数の増減、極値、凹凸、変曲点を調べ、概形を描く。</li> <li>「積分法とその応用」では、新しい置換積分法、部分積分法を導入する。これをいろいろな関数の積分に適用する。また、面積・体積を求めることができるようにする。</li> <li>大学入学共通テストに向けて、数学ⅠA・ⅡBの問題演習をする。</li> </ol>			
<b>履修上の注意</b> 授業進度が速いので、予習・復習をかかささないこと。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
数学	数学特講	数学特講γ	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・理数
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			前期 59 時間 後期 58 時間
<ol style="list-style-type: none"> <li>「複素数平面」では、数学Ⅱで学んだ複素数を座標平面上で表し、複素数をもつ代数的な性質と、幾何学的な性質の関連を考える。</li> <li>「式と曲線」では、放物線、楕円、双曲線について学ぶ。数学Ⅰ、Ⅱで学んだ2次関数のグラフや円などとの関連や図形同士の関連を考える。</li> <li>「関数」では、分数関数と無理関数を導入し、その不等式を解けるようにする。また、合成関数の概念を理解する。</li> <li>大学入学共通テストに向けて、数学ⅠA・ⅡBの問題演習をする。</li> </ol>			
<b>履修上の注意</b> 授業進度が速いので、予習・復習をかかささないこと。 習熟度に応じて「基礎」、「標準」の2コースに分かれて履修する。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
数学	数学特講	数学特講 $\alpha$	1
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	前期	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b> 国公立大学個別試験に向けて、数学 I A・II Bの問題演習をする			前期 39 時間
<b>履修上の注意</b> 授業進度が速いので、予習・復習をかかささないこと。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
数学	数学特講	数学特講 $\beta$	1
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	後期	選択・人文
<b>履修条件</b> 前期数学特講 $\alpha$ を履修すること			
<b>講座内容</b> 国公立大学個別試験に向けて、数学 I A・II Bの問題演習をする			前期 39 時間
<b>履修上の注意</b> 授業進度が速いので、予習・復習をかかささないこと。			

( 数 学 ) 科 ( 科目 )	普通 ・ 家 政 科	( 3 ) 年 次 ( 文 系 )
科目名 ( 時間割上 )		( 備 考 配 当 時 間 ・ 履 修 形 態 な ど )
A	数学特論 $\alpha$	3 単 位 習 熟 度
B	数学B研究 $\alpha$	2 単 位 習 熟 度
C	数学特講 $\alpha \cdot \beta$	前 期 1 単 位 後 期 1 単 位 【 学 校 設 定 科 目 】 本 年 度 開 講 せ ず
D		
教 材	問題集：(数学特論 $\alpha$ ) ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B(数研出版) (数学B研究 $\alpha$ ) ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B(数研出版) (数学特講 $\alpha$ ) ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B (数研出版)  参考書：「チャート式 解法と演習 数学 I +A (数研出版)」 「チャート式 解法と演習 数学 II +B (数研出版)」	
指 導 到 達 目 標 と 指 導 の 工 夫	(数学特論 $\alpha$ ・数学B研究 $\alpha$ )大学入試センター試験に向け、数学 I A II B の対応力を養成する  (数学特講) 国公立大学の個別試験に対応できる学力を身につけさせる あわせて大学入試センター試験に向け、数学 I A II B の対応力を養成する	
課 題	授業ごとの課題：問題集の練習問題の中から授業中に指示 週末課題：参考書、問題集の指定した問題を解いて期日に提出 休業中の課題：センター試験対策問題演習	
評 価 方 法	定期考査をもっとも重視するが、課題考査、小テスト、課題の提出状況、授業中の意欲や態度などを総合的に評価する	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	数学特論 $\alpha$	数学B研究 $\alpha$	数学特講 $\alpha \cdot \beta$	
4	センター対策演習 数学 I・A の演習	センター対策演習 数学 I・A の演習	2次試験対策演習 数学 I・A の演習	
5	↓ 数学 II・B の演習	↓ 数学 II・B の演習	↓ 数学 II・B の演習	
6				
7				
8				
9				
10			センター対策演習 数学 I・A の演習	
11			↓ 数学 II・B の演習	
12				
1				
2				
3				
備考				

( 数 学 ) 科 (科目)	普通 ・ 家 政 科	( 3 ) 年 次 (理系)
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)
A	数学Ⅲ	4 単位 (習熟度)
B	数学特論 β	4 単位 【学校設定科目】
C	数学特講 γ	3 単位(習熟度) 【学校設定科目】
D		
教材	教科書：数学Ⅲ(数研出版) 問題集：(数学Ⅲ) 3TRIAL 数学Ⅲ (数研出版) (数学特論 β) ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B(数研出版) (数学特講 γ) ベーシックスタイル数学演習 I・II・A・B(数研出版)	
指導到達目標と指導の工夫	(数学Ⅲ)国公立大学の個別試験に対応できる学力を身につけさせる あわせて大学入試センター試験に向け、数学 I A II B の対応力を養成する (数学特論 β) 大学入試センター試験に向け、数学 I A II B の対応力を養成する (数学特講 γ) 数Ⅲ選択者コース：数学Ⅲの進度を補完したのち、数学 I ~Ⅲの対応力を養成する 数学特論選択コース：大学入試センター試験に向け、数学 I A II B の対応力を養成する	
課題	授業ごとの課題：教科書や問題集の練習問題で授業中に指示 週末課題：(数学Ⅲ)指定された問題集・参考書の問題、模試の過去問演習を解いて期日に提出 (数学特論 β) 「チャート式 解法と演習 数学 I + A」「同 数学 II + B」の指定した問題を解いて期日に提出 定期課題：問題集の指定した問題を解いて提出 希望者は上記の代わりに入試実践問題演習プリント 休業中の課題：(数学Ⅲ) それまでの復習と実践問題 (共通) センター試験対策問題演習	
評価方法	定期考査をもっとも重視するが、課題考査、小テスト、課題の提出状況、授業中の意欲や態度などを総合的に評価する	

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	数学Ⅲ	数学特論 $\beta$	数学特講 $\gamma$ (数Ⅲ)	数学特講 $\gamma$ (特論)
4	微分法	センター対策演習 数学Ⅰ・Aの演習	複素数平面	センター対策演習 数学Ⅱ・Bの演習
5	微分法の応用	↓ 数学Ⅱ・Bの演習		↓ 数学Ⅰ・Aの演習
6	積分法とその応用		式と曲線	
7			数Ⅲの演習	
8	数Ⅲの演習			
9		センター対策演習		
10	センター対策演習		センター対策演習	
11				
12				
1				
2				
3				
備考	数Ⅲの演習とセンター対策演習は平行して行う時期もある			



教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
理科	化学	化学β	5
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	理数
<b>履修条件</b> 2年次に化学βを履修していること。			
<b>講座内容</b> 1. 周期表と元素の性質を学んだあとで、非金属元素の単体や化合物、典型元素・遷移元素の単体や化合物について、その性質や用途を学ぶ。 2. 私たちの周りにある日用品や医薬品、衣料、食物などは有機化合物でできている。ここでは、脂肪族炭化水素および芳香族化合物について構造や性質を学ぶ。 3. 食品・衣料・材料などとして、私たちの生活を支えている物質である高分子化合物について学ぶ。			前期 65 時間  前期後期 65 時間  後期 65 時間
<b>履修上の注意</b> 週末課題や小テストなどにも真剣に取り組むこと。			
教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
理科	化学研究	化学研究	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b> 2年次に化学基礎αを履修していること。			
<b>講座内容</b> 2年次に履修した化学基礎の学習を更に発展させることにより、化学の基本的概念・原理・法則の理解の深化を図るとともに、日常生活や社会との関連を図りながら目的意識を持って観察・実験を行うことで、化学的に探究する能力と態度を育成する。また、グループ討議での意見交換を行った上で、レポート作成やプレゼンテーション能力を身につけさせる。 (1) 物質の状態 ア 粒子の結合と結晶の構造 (2) 物質の変化 ア 電気分解と電池 (3) 化学と人間生活 ア 無機物質    イ 材料の化学    ウ 有機化合物 エ 食品と衣料の化学 (4) 探究活動			19 時間  20 時間  19 時間  20 時間
<b>履修上の注意</b> 人文系の大学進学を希望している者を対象とする。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
理科	化学	化学 $\alpha$	4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b> 2年次に化学基礎 $\alpha$ を履修していること。			
<b>講座内容</b> 1. 「物質の状態と平衡」では、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡及び溶液の性質について学習する。 2. 「物質の変化と平衡」では、化学反応に伴うエネルギーの出入り、反応速度及び化学平衡について学習する。 3. 周期表と元素の性質を学んだあとで、非金属元素の単体や化合物、典型元素・遷移元素の単体や化合物について、その性質や用途を学ぶ。 4. 私たちの周りにある日用品や医薬品、衣料、食物などは有機化合物でできている。ここでは、脂肪族炭化水素および芳香族化合物について構造や性質を学ぶ。 5. 食品・衣料・材料などとして、私たちの生活を支えている物質である高分子化合物について学ぶ。			前期 78 時間          後期 78 時間
<b>履修上の注意</b> 大学入学共通テストで基礎を付さない化学が課せられる大学を受験希望の者を対象とする。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
理科	生物	生物 $\alpha$	4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b> 1. 生物に含まれる元素は、主に酸素、炭素、水素、窒素であることを理解し、水、タンパク質、脂質、炭水化物の特徴を理解する。さまざまな細胞小器官について関心を持ち、その働きと構造を理解する。タンパク質の輸送を例に、細胞小器官は相互に関わりあいがあることを理解する。 2. 細胞膜を透過する物質の大きさと透過性の関係に関心を持ち、意欲的に学習する。受動輸送と能動輸送との違いを理解し動物細胞と植物細胞の水の浸透のようすの違いを学習する。エンドサイトーシスとエキソサイトーシスのしくみを理解する。 3. タンパク質のアミノ酸の構造とペプチド結合について学習する。アミノ酸の配列と数の違いによって、タンパク質の構造が変化し、一次構造、二次構造、三次構造、四次構造について理解する。酵素の基本的な性質に関心を持ち、その性質が生じるしくみを理解する。細胞内での物質輸送に関与するモータータンパク質について理解する。 4. 代謝とエネルギーの出入りについてエネルギー代謝について科学的に理解する。また、同化と異化についての仕組みを理解し有機物を得る方法によって、独立養生物と従属栄養生物に分けられること学ぶ。			前期 52 時間  前期後期 各 26 時間  後期 52 時間
<b>履修上の注意</b> 大学入学共通テストで基礎を付さない生物が課せられる大学を受験希望の者を対象とする。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
理科	生物	生物β	5
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・理数
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b> 1. 生物に含まれる元素は、主に酸素、炭素、水素、窒素であることを理解し、水、タンパク質、脂質、炭水化物の特徴を理解する。さまざまな細胞小器官について関心を持ち、その働きと構造を理解する。タンパク質の輸送を例に、細胞小器官は相互に関わりあいがあることを理解する。 2. 細胞膜を透過する物質の大きさと透過性の関係に関心を持ち、意欲的に学習する。受動輸送と能動輸送との違いを理解し動物細胞と植物細胞の水の浸透のようすの違いを学習する。エンドサイトーシスとエキソサイトーシスのしくみを理解する。 3. タンパク質のアミノ酸の構造とペプチド結合について学習する。アミノ酸の配列と数の違いによって、タンパク質の構造が変化し、一次構造、二次構造、三次構造、四次構造について理解する。酵素の基本的な性質に関心を持ち、その性質が生じるしくみを理解する。細胞内での物質輸送に関与するモータータンパク質について理解する。 4. 代謝とエネルギーの出入りについてエネルギー代謝について科学的に理解する。また、同化と異化についての仕組みを理解し有機物を得る方法によって、独立養生物と従属栄養生物に分けられること学ぶ。			前期 65 時間  前期後期 65 時間  後期 65 時間
<b>履修上の注意</b>			



(理)科	(物理)	普通	家政科	(3)年次
科目名(時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)		
A	物理β	5単位 理系 選択履修		
教材	教科書： 改訂版 総合物理(数研出版) 副教材： ステップアップノート物理 改訂版 (啓林館) エクセル物理 総合版 物理基礎+物理 (実教出版) らくらくマスター物理基礎・物理 (河合出版)			
指導到達目標と指導の工夫	生徒実験を行うことにより，探究する心を養う。 生徒実験できない事項も，演示実験で示したり，写真やモデル図を見せるようにする。 週末課題等を行い，基礎事項の定着をはかる。			
課題	考查課題：物理のエッセンス。考查範囲の指定した問題を解かせて提出させる。			
評価方法	定期考查，課題考查，課題の提出状況，授業中の意欲や態度などを総合的に評価する。			

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 物理β		C	D
4	波			
5				
6				
7	電気と磁気			
8				
9				
10	原子			
11	センター試験対策演習			
12				
1	2次, 私大対策演習			
2				
3				
備考				

(理)科(化学)		普通・家政科	(3)年次
科目名(時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)	
A	化学研究	2単位 文系 選択履修	
B	化学β	5単位 理系 選択履修	
教材	A 教科書 改訂 化学基礎 (東京書籍) 副教材 セミナー 化学基礎 (第一学習社) B 教科書 改訂 化学 (東京書籍) 副教材 セミナー 化学基礎+化学 (第一学習社) 四訂版 サイエンスビューー 化学総合資料 (実教出版)		
指導到達目標と指導の工夫	授業プリントを作成し、授業の質・量の効率化を図る。 生徒実験を行うことにより、探究する心を養う。		
課題	必要に応じて課題を設定する。		
評価方法	定期考査、課題の提出状況などを総合的に評価する。		

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 化学研究	B 化学β	C	D
4	酸化還元反応	有機化合物の構造		
5		非金属元素		
6		炭化水素		
7	復習	アルコール関連化合物		
8		典型金属元素		
9	共通テスト演習	芳香族化合物		
10		遷移元素		
11		合成高分子化合物		
12		天然高分子化合物		
1		共通テスト演習		
2				
3				
備考				

( 理 ) 科 ( 生 物 )		普通・家政科	(3) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)	
A	生物研究	2単位 文系 選択履修	
B	生物β	5単位 理系 選択履修	
教材	<p>A 教科書：改訂版 生物基礎(数研出版) 副教材：スクエア最新図説生物 neo(第一学習社) 大学入学共通テスト対策チェック&amp;演習生物基礎(数研出版)</p> <p>B 教科書：改訂版 生物 (数研出版) 副教材：スクエア最新図説生物 neo (第一学習社) 大学入学共通テスト対策チェック&amp;演習生物(数研出版) 四訂版リードα生物 (数研出版) 改訂版生物準拠ノート教科書整理 第2巻 (数研出版)</p>		
指導到達目標と指導の工夫	<p>実験を行うことにより、探究する心を養う。 デジタル映像を使用するなど、教材を工夫して生徒の理解を助ける。 授業プリントを作成し、授業の質・量の効率化を図る。 生徒実験できない事項も、演示実験で示したり、総合資料の写真やモデル図を見せるようにする。</p>		
課題	<p>考查課題：副教材の問題集。考查範囲の指定した問題を解かせてノート提出させる。 休業中の課題：復習プリントを準備する。</p>		
評価方法	<p>定期考查，課題考查，小テスト，課題の提出状況，授業中の意欲や態度などを総合的に評価する。</p>		

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 生物研究	B 生物	C	D
4	探究活動 ①生物の体内環境	生殖と発生		
5				
6	②植生の多様性と分布 ③生態系とその保全	動物の反応と行動 植物の環境応答		
7		生物群集と生態系		
8	センター試験対策演習	生命の起源と進化		
9		生物の系統		
10		センター試験対策演習		
11				
12				
1				
2				
3				
備考				

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
保健体育	体育	体育	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	共通・必
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			
1 体づくり運動 自己の体力や生活に応じて、体の調子を整え体力の向上を図る。			前期 8 時間
2 体育理論 体育・スポーツに関する知識を理解できるようにし、運動の合理的な実践及び健康の増進と体力の向上に活用することができる資質や能力を身につける。			前期 6 時間
3 選択制授業 生徒一人一人に運動の楽しさや喜びを深く味わうことが出来るよう、また自分の能力・適性・興味・関心に応じた運動の行い方や楽しみ方や学び方を計画的に工夫する力をより一層育てることができる。			前期 32 時間 後期 32 時間
<b>履修上の注意</b>			
選択制授業の趣旨をよく理解し、積極的に授業に参加すること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
保健体育	体育	スポーツⅡ	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			
1 体づくり運動 自己の体力や生活に応じて、体の調子を整え体力の向上を図る。			前期 8 時間
2 球技 球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指すこと及び主体的、合理的、計画的な実践を通して自己の課題を解決できるようにすることを強調するとともに、生涯を通して、スポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を身に付ける。			前期 54 時間 後期 55 時間
<b>履修上の注意</b>			
体育系大学の実技試験を想定した授業を行うため、進路が具体化している者の選択が好ましい。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
保健体育	体育	スポーツ概論	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			
<p>1 スポーツの歴史、文化的特徴や現代のスポーツの特徴  スポーツの歴史や我が国から世界に発展したスポーツがあること、国際親善や世界平和に貢献するオリンピックムーブメントなどがあること、スポーツの文化的価値を失わせる行為としてドーピングがあること、現代社会ではスポーツが経済の中で大きな位置を占めていることなどで構成。</p> <p>2 運動やスポーツの技術と技能  技術は練習により技能として発揮できるようになること、技術の種類や技能の上達過程及び学習の段階に応じた学習の仕方があること、技能と体力は相互に関連していること、運動やスポーツの活動時の健康・安全の適切な確保の仕方があることなどを中心として構成。</p> <p>3 豊かなスポーツライフの設計の仕方  各ライフステージには身体的、心理的、社会的特徴に応じたスポーツの楽しみ方があり個人の欲求によっても変化すること、運動機会や活動の場を条件とする自らのライフスタイルに適したスポーツのかかわり方があることスポーツの振興を図る施策や条件整備が進められていること、スポーツを行う上では環境への配慮が求められていることなどで構成。</p>			前期 26 時間  前期 13 時間 後期 13 時間  後期 26 時間
<b>履修上の注意</b>			
選択制授業の趣旨をよく理解し、積極的に授業に参加すること。			

令和5年度 保健体育科 年間指導計画

科目	学年	性別	科	単 位	4			5				6				7				9				10				11				12				1		2						
					月 週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
体育	1	男子	普	2	体づくり運動			ソフトボール				ダンス	体 つ く り 運 動	陸上競技				バスケットボール				器械体操				サッカー																		
		女子	普・家	2	体づくり運動			バレーボール						バドミントン				器械体操				陸上競技				バスケットボール																		
	2	男子	普	3	体づくり運動			前期選択制授業 (バレーボール・バドミントン・ソフトボール・テニス・卓球・ バスケットボール) ※(陸上競技・器械体操・ダンス・柔道) ※種目より前中後期の内1回以上選択				ダンス	体 つ く り 運 動	中期選択制授業 (バレーボール・バドミントン・ソフトボール・テニス・ 卓球・バスケットボール) ※(陸上競技・器械体操・ダンス・柔道) ※種目より前中後期の内1回以上選択				後期選択制授業 (バレーボール・バドミントン・サッカー・テニス・卓 球 ・バスケットボール) ※(陸上競技・器械体操・ダンス・柔道) ※種目より前中後期の内1回以上必ず選択																										
		女子	普・家	3	体づくり運動			前期選択制授業 (バレーボール・バドミントン・ソフトボール・テニス・卓球・ バスケットボール) ※(陸上競技・器械体操・ダンス・柔道) ※種目より前中後期の内1回以上選択						中期選択制授業 (バレーボール・バドミントン・ソフトボール・テニス・ 卓球・バスケットボール) ※(陸上競技・器械体操・ダンス・柔道) ※種目より前中後期の内1回以上選択																														
	3	男子	普	2	体づくり運動			前期選択制授業 (バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ ソフトボール・卓球・テニス・バードゴルフ・ペタンク・ 陸上競技・器械体操・ダンス・柔道)				ダンス	体 つ く り 運 動	前期 選 択 制 授 業	後期選択制授業 (バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ サッカー・卓球・テニス・バードゴルフ・ペタンク・ 陸上競技・器械体操・ダンス・柔道)																													
		女子	普・家	2	体づくり運動																		体育理論(6)																					
	2	男女	普	1	スポーツⅡ(器械体操・陸上競技・バドミントン・バレーボール・専門種目等)																																							
	保健	1	全員	普・家	1	現代社会と健康																																						
		2				生涯を通じる健康																			社会生活と健康																			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
音楽	音楽理論	音楽理論	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b> 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」の内容の継続をするとともに、専門知識の学習や各自の得意分野の技術向上をはかる。			117時間
<b>履修上の注意</b> 音楽が将来何らかの形で必要になる生徒を対象とする。 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」を履修していることが望ましい。			
教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
美術	素描	素描	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b> 「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」で学習した内容を踏まえ、さらに高度な技術と独創的な表現を身に付ける。また鉛筆デッサン等、大学入試に対応した実技練習を行う。			117時間
<b>履修上の注意</b> 将来美術方面への進学を考えている者が履修すること。 「美術Ⅰ」「美術Ⅱ」を履修していることが望ましい。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
書道	書道実践	書道実践	3
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
履修条件			
講座内容 「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」の内容の継続をするとともに、専門知識の学習や大学入試に対応した内容の学習を行う。特に、臨書を中心に行い、書道史も学習していく。篆・隸・楷・行・草の各書体を学習しながら、古典の学習を深める。			117時間
履修上の注意			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
音楽	ソルフェージュ	ソルフェージュ	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択・人文
履修条件			
講座内容 受験に必要なソルフェージュ・音楽理論・音楽実技等を履修者の希望や実状に応じて展開する。			78時間
履修上の注意 音楽が受験で必要になる生徒を対象とする。 「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」を履修していることが望ましい。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
美術	クラフトデザイン	クラフトデザイン	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			78時間
1. 「デザインの基礎」「図法、製図」では、色彩や構成に関するデザインの基礎的な内容を学習する。 2. 「工芸」では、石こう・木材・石・発砲スチロールなど様々な素材を使っての作品制作を行う。 3. 「伝統工芸」では、備前焼を中心とした陶芸を行う。 4. 「鑑賞」では、デザインに関する各分野の作品を鑑賞し、観る力を養う。			
<b>履修上の注意</b>			
将来デザインに関する進路を希望しているものが履修すること。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
書道	実用書道	実用書道	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文・選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			78時間
1. 硬筆習字や毛筆での細字の学習を通して、いわゆる実用に適した書の技術を体得していく。 履歴書、手紙封筒書き、金封の書き方など			
<b>履修上の注意</b>			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
書道	書道概論	書道概論	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文・選択
履修条件			
講座内容 「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」を選択していなかった者および実技を必要とする者に対し、専門知識の学習や大学入試に対応した内容の学習を行う。特に、臨書を中心に行い、書道史も学習していく。篆・隸・楷・行・草の各書体を学習しながら、古典の学習を深める。			78時間
履修上の注意			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
音楽	演奏研究	演奏研究	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文・選択
履修条件			
講座内容 1. 国公立大学の教育課程に必要な実技指導。 受験に必要なソルフェージュ・音楽理論・音楽実技等を履修者の希望や実状に応じて展開する。			78時間
履修上の注意 国公立大学の音楽実技を要する科の受験希望者に限る			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
美術	構成	構成	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文・選択
<b>履修条件</b>			
<b>講座内容</b>			78 時間
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「形体」では、形体の性質と空間の果たす役割について理解し、「色彩」では色彩について体系的に学び、実際に制作を行う。</li> <li>2. 「材料」では、様々な素材の特性を作品制作の中で学び、材料と道具のかかわりについて体験的に理解し、制作の中で活用する。</li> <li>3. 「平面構成・立体構成」では、形体・色彩・材料など効果的な使い方を総合的に考え制作を行っていく。</li> <li>4. 「鑑賞」では生徒や作家の作品を鑑賞し、作者の意図や構成のねらいなど理解を深める。</li> </ol>			
<b>履修上の注意</b>			
将来美術系に関する進路を希望しているものが履修すること。			

( 美術 ) 科		普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)	
A	素描	3 単位 選択履修	
B	構成	2 単位 選択履修	
C	クラフトデザイン	2 単位 選択履修	
D			
教材	高校生の美術 2		
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素描／卓上の静物デッサンの練習を通じて、物の形態・光の向き・質感、物と物との位置関係など性格にとらえ描写することができる。</li> <li>・構成／「形体」「色彩」「材料」について学び、その効果的な使い方を総合的に考え制作を行っていくことができる。</li> <li>・クラフトデザイン／色彩や構成について理解し、デザインの基礎的な内容を習得し、立体作品を制作することができる。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素描 静物デッサン</li> <li>・構成 平面構成・立体構成</li> <li>・クラフトデザイン 工芸作品制作</li> </ul>		
評価方法	完成作品・制作途中作品・活動の様子など総合的に評価する		

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A 素描	B 構成	Cクラフトデザイン	D
4	・ガイダンス	・ガイダンス	・ガイダンス	
5	・素描(静物)	・色彩理論	・素材研究	
6				
7		・平面構成 (モチーフあり)	・紙での作品制作	
8				
9	・素描(石膏幾何形体)	・平面構成 (モチーフなし・構 想)	・木材での作品制作	
10				
11				
12			・自由制作	
1	・素描(石膏像)	・立体構成		
2				
3				
備考				

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
外国語 (英語)	コミュニケーション英語Ⅲ	コミュニケーション英語Ⅲ ( $\alpha$ :人文系, $\beta$ :理数系)	$\alpha$ :6 $\beta$ :4
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	共通
<b>履修条件</b> コミュニケーション英語Ⅱを履修していること。			
<b>講座内容</b> 幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 具体的には、コミュニケーション英語Ⅱの活動を発展させ、更に ア 英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりできる。 イ 英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解したり、概要や要点をとえたりできる。 ウ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換ができる。 エ 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書けるようになることをめざして学習する。			(文系) 234時間 (理系) 156時間
<b>履修上の注意</b> 共通テストのリーディング演習やリスニング演習も行う。			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
外国語 (英語)	英語表現Ⅱ	英語表現Ⅱ	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	共通
<b>履修条件</b> 2, 3年次継続履修。			
<b>講座内容</b> 2年次に履修した「英語表現Ⅱ」や「コミュニケーション英語Ⅱ」で学んだことを基礎として、情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけることを目標とする。 また、単文レベルから作文練習を積み重ね、最終的には自分の考えや伝えたいことをパラグラフ・レベルで効果的に表現できる力を養うことを目指す。			78時間
<b>履修上の注意</b>			

教科名	科目名	講座名(校内名称)	単位数
外国語 (英語)	異文化理解	異文化理解	2
履修学科	履修年次	期	履修形態
普通科	3年次	通年	人文系選択
履修条件			
講座内容 異文化や自文化について学習し発表することを通して、文化について理解し、異文化理解の必要性について考えを深め、異文化に対して寛容な態度を身につける。また、世界が抱える諸問題についても意識を高め、多文化共生社会において活躍できる力を身につける。			78時間
履修上の注意			

( 外国語 (英語) ) 科 (科目)		普通 ・ 家政 科	( 3 ) 年次
科目名 (時間割上)		(備考 配当時間・履修形態など)	
A	コミュニケーション英語Ⅲ α	6 単位 (人文系選択者, 習熟度別授業)	
B	コミュニケーション英語Ⅲ β	4 単位 (理数系選択者, 習熟度別授業)	
C	英語表現Ⅱ	2 単位 (文理別習熟度別授業)	
D	異文化理解	2 単位 (人文系選択者, 習熟度別授業)	
教材	<p>コミュニケーション英語Ⅲ : LANDMARK English Communication III (啓林館)          共通テスト練習問題集・リスニング問題集 (人文系・理数系)          長文問題集 (人文系)</p> <p>英語表現 : Vison Quest English Expression II (啓林館)          未来につながる英作文 standard (Learns)</p> <p>異文化理解 : 世界を読み解く英語リーディング (アルク)</p> <p>単語・熟語 : LEAP (数研出版)</p>		
指導到達目標と指導の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードを用いて本文の要旨を口頭で伝えることができる。</li> <li>・様々な話題について自分の意見や感想などを英語で話すことができる。</li> <li>・様々な分野の英文を読み, 要約文を書くことができる。</li> <li>・段落構成を意識しながら, 自分の意見や感想などを書くことができる。</li> <li>・様々な話題を扱った会話やモノローグを聞いて, 概要を把握することができる。</li> <li>・コミュニケーション英語Ⅲの教科書の本文を 140wpm 以上で音読することができる。</li> <li>・自主課題で多読し, 力を伸ばす。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合問題集</li> <li>・Listening 問題集</li> <li>・スタディサプリ視聴</li> </ul>		
評価方法	<p>定期考査, 課題考査, 小テスト, パフォーマンステスト (ライティング・スピーキング)          課題の提出状況, 授業中の意欲や態度 などを総合的に評価</p>		

年間計画 (科目ごとに年間の計画を記入)

科目	A B コミュニケーション英語Ⅲ (4単位)	C 英語表現Ⅱ	D 異文化理解
4	Lesson 1 Caffeine :The World's Favorite Drug Lesson 2 Blood Is Blood	Part2 Lesson 1 文と文をつなぐ Lesson 2 ロボットの有用性 Lesson 3 英語を学ぶ意義	Part1 Lesson 1 エコ商品 Lesson 2 エコカー Lesson 3 企業の環境意識
5	(第1回考査) Lesson 3 Australia and its Creatures	(第1回考査) Lesson 4 都会と田舎	(第1回考査) Lesson 4 エコ改築 Lesson 5 絶滅危惧種の保護
6	Lesson 4 The \$100,000 Salt and Pepper Shaker	Lesson 5 深刻な黄砂問 Lesson 6 ベジタリアン	Lesson 6 エコツーリズム Part2 Lesson 7 環境問題と 南北問題
7	Lesson 5 Bilingual Effects in the Brain	Lesson 7 リスニングの要約	Lesson 8 地雷のある世界
8	(第2回考査) Lesson 6 Communication without Words	(第2回考査) Part3 Lesson 1 プレゼンテーション	(第2回考査) Lesson 9 難民のいる世界 Lesson10 飢餓のある社会
9	Lesson 7 Political Correctness Lesson 8 Animal Math	Lesson 2 ディスカッション	Lesson11 格差のある社会 Part3 Lesson12 医療支援
10	(第3回考査) Lesson 9 The Story of My Life Lesson 10 Extinction of Languages	(第3回考査) Lesson 3 ディベート	(第3回考査) Lesson13 経済支援 Lesson14 教育支援 Lesson15 自立支援
11	Lesson 11 Learning a First Culture	(第4回考査) Lesson 3 ディベート	Lesson16 平和への祈り
12	(第4回考査) 共通テスト対策演習	(第4回考査) 共通テスト演習	(第4回考査) 共通テスト対策演習
1	リスニング演習	英作文演習	リスニング演習
2	長文演習		長文演習
3			
備考	・人文系の2単位は演習問題を行う。		